

首都直下地震に備えた震災対策演習を実施

帰宅困難な状況を想定した仮想宿泊演習

日本地震再保険では、震災対策演習として帰宅困難な状況を想定した仮想宿泊演習を実施しました。

仮想宿泊演習

日本地震再保険では首都直下地震に備え、実効性のある事業継続マネジメントの強化に取り組んでいます。

震災対策演習として、大地震が発生し帰宅困難な状況を想定した仮想宿泊演習を役員、社員が5つのグループに分かれ11月と12月に実施しました。

仮想宿泊演習は、本社内でグループメンバーが残留し宿泊することを想定した演習です。宿泊に必要な蓄電池、発電機、非常食等の防災備品の保管場所の確認やその取扱いについて全員が行えるよう改めて確認しました。

以上